

(特非) 森は海の恋人

リアスの浜における湿地・干潟保全活動に基づく地域再生

活動掲載ホームページのページビュー数	52,000 ビュー
助成活動がメディアに掲載された回数	30 回
活動の全体目標に対する達成度	70%



宿泊型体験学習「秋合宿」の様子

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 体験学習では、延べ 700 名を超える参加者を迎えることができた。環境調査では震災後 5 年目を迎え、データが確実に蓄積されており、地元の漁業者に情報をフィードバックすることが可能となってきた。
- 工夫** 環境調査では、これまでの活動を維持するとともに、若手研究者がフィールドとして活躍できるよう配慮した。

課 題

三陸らしいまちづくりを推進すべく、被災した低地に出現した汽水域を生物のゆりかごとして保全し、観光や環境教育の場として利活用しつつ、漁業生産性を高める方策を検討する。

活動内容

活動 1 森里海の環境調査：延べ 39 回

活動 2 森里海の環境教育：36 回(学校・団体受け入れ 20 団体、主催宿泊型／日帰り体験学習 4 回、出張講義 12 回)

活動 3 湿地・干潟保全の実現化と情報発信、各団体との連絡調整、行政等関係機関との意見交換・情報共有等を実施。現場の視察等を目的とした 57 団体延べ 451 人の訪問を受け入れ、各種講演会を 40 回行い、延べ 3,600 人へ活動の報告を行った。



環境調査（桁網調査）の様子

今後の課題

湿地の保全については地元住民および関係省庁等関係者との根気強い協議が必要となっていることから、丁寧な協議を重ね、関係者が納得できる結果につなげていく。